

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院脳神経血管内治療科、虎の門病院腎センター内科、虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族などがこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族などの診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2011年1月1日～2024年10月31日の間に、多発性嚢胞腎のために虎の門病院・虎の門病院分院に入院・通院し、診療を受けられた20歳以上の方

【研究課題名】

常染色体顕性(優性)多発性嚢胞腎(ADPKD)患者における脳動脈瘤の発生と増大・破裂にかかわる因子についての研究

【研究の目的・背景】

《目的》

常染色体顕性(優性)多発性嚢胞腎(ADPKD)患者における脳動脈瘤の発生と増大・破裂にかかわる因子を検証する

《研究に至る背景》

常染色体顕性多発性嚢胞腎(ADPKD)の患者さんにおいては、一般人口と比較して脳動脈瘤合併が多いとされています。MRIでのスクリーニングが推奨されているため、小さい動脈瘤のうちに見つかることも少なくありませんが、どういう因子が破裂や瘤増大に関わるのかなどに関する確固たるデータはありません。そこで我々はADPKD患者さんにおける脳動脈瘤の自然歴や破裂などに関わるリスク因子を調べることにしました。同様の研究はなく、ADPKDの患者さんにおける脳動脈瘤の治療方針を決定する意味で臨床上大切な研究であると考えられます。

【研究期間】

2025年1月14日 ～ 2025年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別するこ

とができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

血液・尿検査データ、CT・MRI 検査など画像検査データ、診療記録、薬歴、看護記録

【研究代表者】

虎の門病院脳神経血管内治療科 鶴田和太郎

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：脳神経血管内治療科 鶴田和太郎

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

虎の門病院分院腎センター内科 諏訪部達也

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族などの診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身たご家族などの診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2025年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

担当者所属、氏名、連絡先

虎の門病院脳神経血管内治療科 宮本智志

代表電話 03-3588-1111

虎の門病院腎センター内科 関根章成

代表電話 03-3588-1111

虎の門病院分院腎センター内科 澤直樹
代表番号 044-877-5111